



さいたまセントラルクリニックVIPルームにて

組み合わせ見落としを防ぎます。例えば石灰化した乳がんにはマンモグラフィ、膵がんには超音波、子宮や卵巣がんにはMRIが向いています。加藤　どのぐらいの間隔での受診を勧めているのでしょうか。

鈴石　PET-CTに限れば2～3年でも良いのですが、他の検査を勘案すれば1～2年に1度が安心。当院ではがんに加え、心疾患や脳血管



江戸川病院
院長

加藤正二郎

かとう・しょうじろう／日本大学医学部卒。慶應義塾大学医学部整形外科入局。人工関節、最少侵襲整形外科、骨軟部腫瘍、脊椎外科を専門分野とする。日本整形外科学会認定整形外科専門医。



- 2015年に当クリニックPETプレミアムコースを受診された60歳代男性。PET-CT検査にて大腸（上行結腸）に異常を指摘された。すみやかに信頼のおける大腸専門医療機関を紹介。大腸内視鏡検査の結果、早期癌と診断された。幸い、内視鏡での切除が可能な大きさであったため、1回の内視鏡治療にて終了となった。

最新鋭かん治療機器 導入の江戸川病院と提携

疾患、認知症、糖尿病などを網羅した多様なコースを設定しました。私はこれらの検診が健康増進と共に、気分をリフレッシュし、人生設計を見つめる機会になれば、と思っています。

最新鋭がん治療機器導入の江戸川病院と提携

加藤 主力は3台のトモセラピーです。これはCT画像をベースに腫瘍の形状を立体的に把握。がん細胞だけを狙い撃つ強度変調放射線治療器で、固形がんに優れた威力を發揮します。ただ、脳腫瘍のグリオーマや皮膚がんのメラノーマのように、がん細胞がバラバラに分布するタイプは苦手です。

そこで近々BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）の臨床試験を開始することになりました。まずがん細胞が取り込みやすいホウ素を点滴で体内に入れ、中性子を照射。するとホウ

素から粒子線が飛び出すのですから飛距離が細胞1個分と極小なので、ホウ素を取り込んだがん細胞だけを殺傷できる画期的治療法です。

雲石 国の原子力研究機関で開発された治療法ですね。民間病院でこの治療が受けられるのは大変魅力的ですね。

加藤 呼吸などで動く体幹のがんの位置を、MRIでリアルタイムに捕捉し、コバルトを追尾照射するVIERWARYも導入予定です。

雲石 こちらは本邦初。江戸川病院では放射線治療医、物理医学士、各科の外科医、化学療法を専門とする腫瘍内科医、がん認定看護師や薬剤師などが連携・協働するチーム医療が非常に充実しています。我々診断施設の大切な役割は、がんを発見し

た後、受診者にとつて最適で低侵襲な治療を案内することです。一人ひとりのお気持ちに寄り添い、前向きに治療に向かえるよう支援したい。そのためには、信頼できる医療機関との連携構築は欠かせません。

 社会福祉法人 仁生社 江戸川病院
東京都江戸川区東小岩2-24-18 TEL.03-3673-1221
<http://www.edogawa.or.jp/>

 医療法人 峯昭会
さいたまセントラルクリニック
さいたま市大宮区天沼町2-759 さいたまメディカルタウン3階
TEL.048-658-3741 <http://www.saitama-cc.or.jp/>



高精度な検診の実現で、がんの早期発見を徹底。進行がんをなくし、がん予防の道筋をつけたいと願う、さいたまセントラルクリニツクの雲石一也理事長。一方、クリニツクと医療連携を進める加藤正二郎江戸川病院院長は、最先端のがん放射線医療の推進に余念がない。お二人にがん医療の課題と未来について、語つていただいた。



PET-CT+aで
がん検出率向上を目指す

零石 がんはステージIとされる早期に発見できれば、手術や放射線治療で根治が目指せる時代を迎えています。しかし市区町村が実施するがん検診の受診率は4割に満たず、検査項目にも限りがあります。そこでさいたまセントラルクリニックは2009年の開設以来、進行がん撲滅を目的にPET-CTや3テスラM

RIなどの先進的な画像診断機器を駆使。「PET総合がん検診」を柱に精度の高い診断を提供するとともに、がん予防についても親身のアドバイスを心がけてきました。

加藤 受診者が、きめこまかに健康管理を実践するには、かかりつけの医療施設による継続的な検診・サポートが欠かせません。がんの発見率はどのぐらいですか？

雲石 当クリニックの2015年度の「PET総合がん検診」でがんと

診断された方は受診者685名中7名、うち早期がんは5名でした。検診の主役であるPET-CTは、PET画像とCT画像を重ね合わせることで、体の正確な地図情報が得られ、腫瘍の大きさや性質、進行の度合いなどが判断できるのです。（※左画像参照）

さいたまメディカルクラブ

画像診断専門施設として、多くの医療機関から信頼を集めざるを得ないセントラルクリニックは、同時にホテルのようにラグジュアリーな空間とサービスにも定評がある。特にメディカルクラブ会員は、プライバシーが確保されたVIP専用ウエルカムゲートと贅沢なラウンジが利用可能。コンシェルジュが検診をエスコートし相談にも乗る。しかも10年契約だから、医師によるロングスパンの健康アドバイスも万全で、提携する医療機関の紹介も最優先だ。入会金は2名で100万円。フレンチレストランのランチがつくPETエグゼクティブコース39万円を24万円で受診できるなどの特典も嬉しい。

